



加古川市公設地方卸売市場

## 市民の台所 公設地方卸売市場を守れ

6月16日、建設経済常任委員会で「公設地方卸売市場の廃止に係る方針決定について」の所管事務調査報告が行われました。理事者は5月28日に市場連絡協議会に通知文を交付して説明し、コンセンサスを得たと説明。市当局は既成事実化するため6月1日、神戸新聞にプレスリリース。ところが、6月10付け神戸新聞によれば、連絡協議会から存続を求める嘆願書が署名を添えて市長に提出されています。その一方、6月17日、25日と畳みかけるように廃止方針が喧伝されています。

卸売市場は、26万人加古川市民に時折々の品ぞろえ、需要を反映した価格形成、情報発信を行う大切な暮らしの台所です。飲食店の食材はこの卸売市場から届けられています。また、近隣にある二市二町の農家の方々が作った野菜や果物の販売ルートの確保という点でも大切です。加古川市議会議員団も公設地方卸売市場の存続を願っています。



←早朝からにぎわう市場

# あなたの願いに寄り添う市政に

6月議会  
一般質問から



統合対象の両荘中学校

## 学校統廃合はコロナ対策に逆行

両荘地区の小・中学校を統廃合させる計画が進められています。

市は6月1日から12日までコロナ対策として普通教室での20人以下の授業としました。

大人数を前提とした学校の統廃合が新型コロナウイルス感染症対策としては真逆の効果となることを明らかにし、市内にある多くの大規模校こそ定員を減らすことを求めました。

## 新型コロナウイルス感染症対策に関わる政策

### 市内の経済対策を提案

市内でのみ使える商品券の発行など、市民生活と経済を支える施策が必要と提案しました。

コロナ後の「新しい生活」として、ふるさと加古川へのUターン、新規移住のIターン、市民生活応援として、過去に実施されていた「住宅リフォーム助成制度」を再開して、市内の中小事業者の経済活動を活発化させる提案をしました。

### PCR検査センター求める

諸外国の検査数は日本の8から30倍です。けた違いに少ない検査数です。

妊婦やその家族に実施すること。「第2波」に備え、市として希望する市民にPCR検査を実施することが必要です。

## 力を合わせ頑張ります

市議会議員

**岸本たてき**

- 総務教育常任委員
- 加古川市都市計画審議会委員



市議会議員

**高木えり**

- 福祉環境常任委員
- 議会運営委員



市議会議員

**立花しゅんじ**

- 建設経済常任委員
- 加古川市青少年問題協議会委員



### 令和2年度 第4回・第5回 加古川市議会(臨時会・定例会) 日程(案)

議案は市HPにも掲載されます。各委員会は9:30開会予定です。

#### 第4回 加古川市議会(臨時会)

7/29(水)	全議案上程(質疑・即決)	第1日
30(木)	議会運営委員選任	第2日
31(金)	常任委員等選任 追加議案上程(即決)	第3日

#### 第5回 加古川市議会(定例会)

9/7(月)	全議案上程(質疑・付託)	第1日
8(火)	各常任委員会(条例・補正予算)	
9(水)	代表質問、一般質問	第2日
10(木)	一般質問	第3日
11(金)	一般質問	第4日
14(月)	総務教育常任委員会(決算審査)	

#### 【 請願の締切は8月26日(水)です 】

15(火)	福祉環境常任委員会(決算審査)	
16(水)	建設経済常任委員会(決算審査)	
17(木)	常任委員会予備日	
29(火)	委員会審査報告(質疑・討論・採決) 追加議案上程(即決)	第5日